

令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ザルカ県支援物資保存倉庫機材整備計画」
機材供与式典

2023年9月10日、日本政府の草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組みにより実施された「ザルカ県支援物資保存倉庫機材整備計画」の機材供与式典が実施され、奥山駐ヨルダン日本大使が出席しました。

本計画は、人道支援におけるロジスティック部門のエキスパートとして、これまで日本を含む累計41か国に救援・人道支援物資輸送を実施した実績のある「ヨルダン・ハーシミーヤ慈善団体」に対して、支援物資の荷役・保管のための機材（フォークリフト、ジャッキ、ラック棚、冷蔵庫）を供与することにより、同団体最大の支援物資保管施設であるアル・ガバーウィ倉庫の荷役作業の効率化及び物資保管量の増加を図り、約9万5千名の難民を含む貧困層への支援物資の供給能力の向上に寄与することを目的としています。

同式典には、団体職員・関係者が出席し、フセイン・アルシェブリ同団体事務局長からは、日本の支援に対する感謝の言葉が述べられました。奥山大使からは、脆弱な立場にあるヨルダン人や難民の間では、食料、衣料品、衛生用品等の支援物資の必要性が高まっており、供与機材が支援物資量の拡大に貢献し、同団体が支援する人々の状況改善に資することを期待する旨述べました。

日本政府は、1993年以降、草の根・人間の安全保障無償資金協力により、ヨルダン国内のNGO、学校、病院及び地方自治体に対して、累計157件、総額1,000万ドル以上の支援を行っています。

